

2022年6月30日

報道関係各位

GMO メイクショップ株式会社

**「MakeShop byGMO」、越境 EC 対応ショップが急増し 400 店舗に！
～4 月提供開始の『海外販売機能』で追加費用負担なし、1 クリックで越境 EC を実現。
円安傾向を受け、ブランド品など高額商品の販売実績も多数～**

GMO インターネットグループの GMO メイクショップ株式会社（代表取締役社長：向畑 憲良 以下、GMO メイクショップ）は、EC サイト構築 SaaS「MakeShop byGMO」(URL: <https://www.makeshop.jp/>) において、越境 EC の対応ショップが急増し、6 月 27 日（月）時点で 400 店舗に到達したことをお知らせいたします。



【円安も追い風に、『海外販売機能』利用者が急増】

2020 年以降、新型コロナウイルス感染拡大防止のための入国制限の影響によりインバウンド消費が減少する中で、越境 EC 化によるウェブインバウンドへの関心が高まってきました。「MakeShop byGMO」でも越境 EC のご相談をいただく機会が増えてきたことから、2022 年 3 月、越境 EC 支援をおこなう株式会社ジグザグ（代表取締役：仲里 一義、以下 ジグザグ）と資本業務提携を行い、4 月 5 日より『海外販売機能』^(※1) を提供開始いたしました。

購入代行の仕組みを利用した『海外販売機能』では、EC 事業者が直接海外対応する必要はなく、手軽に越境 EC を始めることができます。販売手数料は無料、海外送料は購入した海外ユーザーの負担となるため、「MakeShop byGMO」のご利用事業者は追加費用負担の必要がありません。そのため、提供開始直後から多くの方に導入いただきました。昨今では円安傾向による海外市場への期待も追い風となったことから、これまで 100 店舗ほどだった越境 EC 対応ショップの数は急増し、『海外販売機能』の提供開始からおよそ 3 か月で 400 店舗（6 月 27 日時点）に到達いたしました。

(※1) ジグザグが提供する越境 EC 対応サービスのシステム連携仕様である「WorldShopping BIZ for Cart」シリーズとの連携により海外販売機能を提供しています。

【越境 EC の実績について】

■ 2 か月で 47 か国・地域へ販売、上位国はアメリカ・香港・台湾

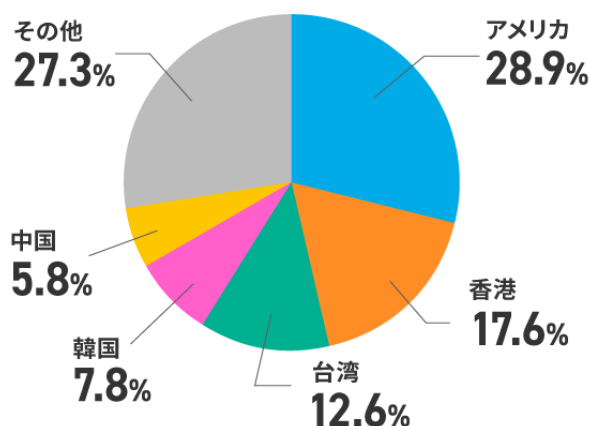
『海外販売機能』を導入することで、228 の国と地域へ販売が可能となりますが、2022 年 4 月～5 月の越境 EC 対応ショップのデータによると、2 か月ですでに 47 か国・地域への販売実績が確認できました。注文件数別で比較すると、1 位アメリカ (28.9%)、2 位香港 (17.6%)、3 位台湾 (12.6%)、注文金額別では、1 位香港 (22.8%)、2 位アメリカ (22.1%)、3 位台湾 (16.6%)。注文件数別・注文金額別共に 4 位には韓国、5 位には中国がランクインし、上位 5 か国で約 7 割を占める結果となりました。

■ 幅広い商品が売れ、円安傾向により高額商品の販売実績も

アパレルやアクセサリー、伝統工芸品、アート作品、ホビー商品など幅広いジャンルの商品が海外ユーザーより購入されている中で、100 万円以上する高級ブランド製品や 60 万円の住宅リフォーム用品、その他にも麻雀用品やビリヤード用品など数十万円もする高額商品の販売実績が多数見られました。この傾向は、円安の影響により日本製品への注目が高まっていることが背景にあると考えられます。

(4月・5月の2ヶ月間で) 販売実績は **47** か国・地域

注文件数別の割合



高額商品の販売実績一例

ブランド製品	100万円	アメリカ
麻雀用品	76万円	アメリカ
住宅リフォーム用品	60万円	タイ
ビリヤード用品	38万円	オーストラリア
花器	33万円	台湾
アーティスト作品	25万円	台湾
アパレル商品	21万円	アメリカ

【越境 EC 対応ショップの声】

■ 波佐見焼を販売する「マルヒロ オンラインストア」様

(URL : <https://store.hasamiyaki.jp/>)

以前にも Instagram やメールで海外からもお問い合わせをいただいていたのですが、海外アーティストとのコラボ作品を発表したことをきっかけに海外販売に力を入れることとなりました。価格・手続きの面で導入しやすいこと、受注～発送までが国内対応と同じで手間がかからないこともあり、「MakeShop byGMO」で越境 EC に対応することができました。発送に関しても検品、再梱包もサービス内容に含まれており、破損などの心配が軽減されたことも海外発送においても安心だと感じました。

EC サイトで世界観を見ていただくこと、さらに SNS 投稿を通じて、国内外のお客様に波佐見焼の魅力を発信していきたいと思っています。

■ 華道グッズの専門店「花楽 池坊フラワーショップ」様

(URL : <https://www.kadosha.co.jp/>)

以前より国内向けの EC サイトと分けて海外向けのサイトを公開していましたが、多言語への翻訳・問い合わせ対応、梱包、送料計算業務全般が国内のお客様と方法が異なるため、人的リソースが一番の課題となっていました。国内サイトを「MakeShop byGMO」へリプレイスし、『海外販売機能』も導入したことで、「WorldShopping BIZ」の仕組みにより海外販売の手助けをしていただいております。

今後は、海外サイトへの誘導を行っていた海外ユーザーにも「国内サイトをご覧ください、そのまま買い物ができます」という案内をしようと思います。

■ インテリア雑貨の総合通販サイト「Hinata Life」様

(URL : <https://hinatalife.com/>)

円安傾向の継続が見込まれる中で、輸入が厳しくなる反面、海外から日本製品へのニーズは高まってくだろうと予測していました。そんな時に「MakeShop byGMO」で『海外販売機能』が提供開始されたのを知り、導入を決めました。海外販売担当を雇う必要がないどころか、何も特別な対応をする必要がなく、本当に申し込みボタンを 1 クリックするだけで、審査が完了次第すぐに海外販売が開始されるんだと驚きを感じました。

自社ブランドを展開するうえでは、将来的に海外進出を検討する際の仮説検証にも役立てられますし、海外ユーザー向けの販促強化施策などもできてくれば、さらに面白い展開になると期待しています。



波佐見焼を販売



有限会社マルヒロ
マルヒロオンラインストア



華道グッズの専門店



株式会社日本華道社
花楽池坊フラワーショップ



インテリア雑貨の総合通販



株式会社ひなたライフ
Hinata Life

【共催ウェビナーについて】

GMO メイクショップは、2022 年 7 月 14 日（木）にジグザグとの共催による無料のウェビナーを開催いたします。両社の社長が登壇し、円安傾向の今だからこそ、すぐに始めるべき越境 EC について、トークセッション形式でお届けいたします。

タイトル	流通総額 2,749 億円の GMO メイクショップ社長×越境 EC スペシャリストのジグザグ社長セミナー～急激な円安で世界からの買い付けが殺到！アフターコロナで本格化するインバウンド消費を取り込むには！？～
対象	「MakeShop byGMO」をご利用の事業者や EC 開設を検討中の方、販売パートナー、メディアの方など
開催日時	2022 年 7 月 14 日（木） 15：00～15：50
開催方法	オンライン（Zoom ウェビナー）
参加費	無料
内容	■セッション 1： 「なぜ今越境 EC なのか？～今やるべきこれだけの理由～」と題して、社会情勢とデータに基づき解説します。 ジグザグ マーケティング・コミュニケーション本部営業チーム 谷古宇 幹也 ■セッション 2： 「越境 EC のスペシャリストたちが語る成功への近道」と題して、EC 業界に知見の深い 2 人からココだけの成功のポイントを引き出します。 ジグザグ 代表取締役 仲里一義・GMO メイクショップ 代表取締役社長 向畑 憲良
お申し込み	下記の URL より詳細をご確認のうえ、お申し込みください。 URL： https://www.event-form.jp/event/34994/t3C6Jj

【GMO メイクショップ株式会社について】

GMO メイクショップは、「Commerce for a better future. / 商取引でより良い未来に」をミッションに掲げ、プラットフォーム事業とシステムインテグレーション事業を展開しています。プラットフォーム事業では、EC 構築支援から、EC マーケティング支援、EC 運用受託まで EC 領域における一気通貫の支援体制を整えており、その中核である EC サイト構築 SaaS「MakeShop byGMO」は、2021 年には年間流通額が 2,749 億円に達し、10 年連続で業界 No.1（※2）を獲得しました。また、主軸となる『プレミアムプラン』とカスタマイズ対応 EC ソリューション「GMO クラウド EC」の『MakeShop エンタープライズプラン』を合わせた導入店舗数は、2021 年 12 月末時点で 11,000 件以上となっています。

今後も GMO メイクショップは、広範な EC 領域において、店舗様が抱える様々な課題を解決できるよう、サービスの強化を図り、国内の EC 市場の活性化に貢献してまいります。

（※2）SaaS 型ネットショップ/EC サイト構築サービス運営企業各社の発表数値より比較（自社調べ 2022 年 3 月時点）

以上

【報道関係お問い合わせ先】

●GMO メイクショップ株式会社
管理本部 広報担当 戸恒

TEL : 03-5728-6227 E-mail : pr@ml.makeshop.jp

【サービスに関するお問い合わせ先】

●GMO メイクショップ株式会社
集客サービスお問い合わせ窓口

E-mail : info@itempost.jp

●GMO インターネット株式会社

グループコミュニケーション部 広報担当 新野

TEL : 03-5456-2695 E-mail : pr@gmo.jp

【GMO メイクショップ株式会社】 (URL : <https://www.makeshop.co.jp/>)

会 社 名	GMO メイクショップ株式会社
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役社長 向畑 憲良
事 業 内 容	■プラットフォーム事業 (EC 構築支援・EC マーケティング支援・EC 運用受託) ■システムインテグレーション事業
資 本 金	5,000 万円

【GMO インターネット株式会社】 (URL : <https://www.gmo.jp/>)

会 社 名	GMO インターネット株式会社 (東証プライム 証券コード : 9449)	
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー	
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿	
事 業 内 容	■インターネットインフラ事業	■インターネット広告・メディア事業
	■インターネット金融事業	■暗号資産事業
資 本 金	50 億円	

Copyright (C) 2022 GMO MAKESHOP Co. Ltd. All Rights Reserved.